

栗原で楽しむ イワナ

耕英から全国へと広がったイワナ養殖とイワナの食文化。

市内には4つの養魚場があります。塩焼きをはじめ、刺身、天ぷら、押し鮭など、多彩なイワナ料理を味わうことができる代表的な飲食店などを紹介します。

栗駒

数又養魚場 岩魚の館

岩魚重と刺身などは要予約。

☎(46)2136



熊谷養魚場

令和6年に釣り堀を再開しました。塩焼きも提供しています。

☎080(1808)5045



花山

花山養魚場(野口商店)

イワナの養殖を行い、鮮魚と炭火焼を販売しています。

☎(56)2969

湯浜温泉 三浦旅館

大自然に囲まれ味わう塩焼き、骨酒が人気です。

☎090(8925)0204

花山温泉 温湯山荘

昼食の塩焼き、宿泊者向け夕食の味噌田楽焼、にぎり寿司、唐揚げなどが好評です。

☎(56)2040

新湯温泉 くりこま荘

耕英でイワナ料理を確立した立役者で、骨まで食べられる岩魚丼は栗駒山の恵みをまるごと堪能できる逸品です。宿泊者向けの夕食はイワナ料理づくしで、炊き込みご飯(要予約)が絶品。イワナの田楽焼きと骨酒も名物です。

☎(46)2036



ハイルザーム栗駒

イワナのフリッター(洋風天ぷら)に乗せた岩魚丼とくりこま高原カレーが人気。

☎(43)4100

温湯温泉 佐藤旅館

イワナの押し鮭、漬け丼など、栗原の新たな名物となる商品開発に取り組んでいます。(要予約)

☎(56)2251



手打ちそば 花舞の里

骨まで食べられる香ばしい炭火焼岩魚の天ぷらが人気です。

☎(56)2170

一迫

遥菜養鱒場

小僧不動の滝の近くで令和7年に釣り堀を始めました。

☎090(3187)0867

会席料理 丸勝

イワナの御造り、香草パン粉焼きなどが好評。(要予約)

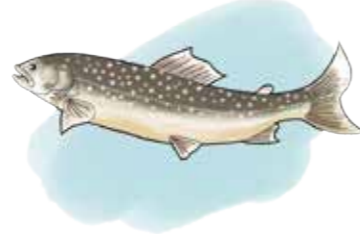
☎(52)2028

築館

まるよ食堂

料理人が丁寧に仕上げた刺身が評判です。(要予約)

☎(22)2018



山菜茶屋 ざらぼう

うまみが凝縮された寒風干しが美味です。

☎(56)2980

道の駅路田里はなやま 自然薯の館

イワナの素揚げや塩焼きが選べる自然薯定食が不動の人気。

☎(56)2265

湖畔のみせ 旬彩

炭火焼(塩焼き)が日曜日と祝日などに提供されます。

☎(24)8301

二人三脚の採卵作業

栗駒山を彩る紅葉が終わり、初冠雪が近づく頃、養殖でも大切な採卵作業を行います。たくさん卵を腹に抱えた



①暴れるイワナを二人で抑えて採卵する。息を合わせ慎重に作業を進める
②採卵する立派に成長したイワナを抱える夫婦。イワナの状態を慎重に見極め採卵作業日を決める
③生命を宿した受精卵を清流で洗い、室内で大切に见守る
④イワナは受精後50日ほどで卵からかえる。稚魚の時期はとても繊細なので水の管理に気を遣う

メスを取り上げ、卵を搾り取り、オスの精子を素早く振りかけます。この作業は慎重さが求められる力作業で、一人だけではできません。長年寄り添った

夫婦が息をぴったり合わせ、作業を手際よく進めます。受精卵を丁寧に洗い、生まれた稚魚を室内で大切に育てる姿は、まるで我が子の成長を見守るかのようです。

試練を乗り越えて

イワナ養殖に初めて成功し、産みの苦しみを乗り越え、事業を軌道に乗せた数又養魚場ですが、その後は決して順風満帆でなく、度重なる試練に見舞われます。

豪雨災害や甚大な被害を受けた平成20年岩手・宮城内陸地震ではイワナが全滅し、長期の休業を余儀なくされました。さらに、東日本大震災ではそれまでたくさん訪れていた沿岸部の人々が犠牲になり、原発事故によりイワナの出荷制限が行われました。

また、大震災からの復興途上に食堂が火災に遭い営業ができなくなり、さらに追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染症でも客足が激減し、経営に大打撃を受けました。

事業の脅威となるのは、自然災害だけでなく、近年はクマやサギなど野生鳥獣による被害も深刻で、常に逆境での闘いを強いられています。

お客様の笑顔が支えに

数又さん夫婦は、事業の継続を諦めなくなるほどの試練に遭っても、それを乗り越え養殖を続けてきました。

日々の養殖の作業は重労働で、繁忙期には料理の下ごしらえのため、深夜まで作業を行うこともあります。今も夫婦そろって元気に働いていますが、二人とも古希を過ぎ、若い頃のように動けなくなっています。大変な苦勞をしてまで事業を続ける理由を伺うと、妻の八千代さんは「イワナ料理を待ち望むお客様の笑顔が見たいから」と言います。

開拓者精神を受け継いで

雨の日も雪の日も作業の手を止めず、数々の試練に毅然と立ち向かい、ことごとく打ち勝ってきた貞勇さん。イワナがいる限り、父が苦勞して立ち上げた養殖をやめるわけにはいかないと、穏やかに話してくれました。イワナ養殖を初めて成功させ、耕英と言えばイワナと言うほど、地域振興に大きく貢献した先駆者として、耕英のイワナ養殖を絶やすことはできない。貞勇さんの言葉から、未開の地を自らの手で切り拓き、新たに故郷を創りあげた、親世代の熱い開拓者精神を受け継ぐ者としての誇りと自負が伝わってきました。